



新メンバーをご紹介します！

4月1日の人事異動に伴い、和食ダム建設事務所も新体制となりました。

今年度は、秋の試験湛水開始を目指して、業務を進めて参りますので、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。(写真右より、田内所長、中島課長、高木主幹、信吉主査、板垣技師)

技師 板垣 拳士郎

4月から和食ダム建設事務所に異動してきました板垣です。
秋頃に試験湛水が開始できるよう頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

主査 信吉 良輔

4月から当事務所に異動してきました信吉と申します。
少しでも早く和食ダムの完成に向けて精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



和食ダム 現在の状況

現在は、ダム建設に用いたタワークレーン、コンクリート製造設備などの撤去が終了し、前年度から引き続きグラウチング工事（地下水を止めるために、基礎岩盤にコンクリートミルクを注入する工事）、ダム湖になる部分の樹木の伐採、既設砂防堰堤の一部コンクリート取り壊し、水面部に流木止用の網場設置、周辺整備等を進めています。



和食ダムの施工状況 R6.4撮影



旧残土処理場 R6.4撮影



新残土処理場 R6.4撮影

和食川河川改修工事の状況

ダム工事と平行して周辺の関連工事も着々と進んでいますので、進捗状況をお知らせします。

①和食川河川改修工事（中村橋上流）

- ・昨年度から引き続き工事を行っており、左岸側の護岸工事については、護岸のすりつけ工を行っており、右岸側に関しては護岸工事（護岸ブロックの積み上げ作業等）を行っています。

②和食川河川改修工事（中村橋下流）

- ・GW頃から仮設道の工事を開始し現在は、右岸護岸ブロックの積み上げ作業及び床堀掘削の作業を行っています。

工事期間中は、工事車両の通行や機械の稼働音等で、周辺にお住まいの方には、ご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



芸西村の史跡紹介 (第38弾)

・信福寺跡

室町時代の末期、近畿地方などで一向宗の僧侶、門徒たちは大名の領国支配に反抗して争った。これが世に言われる一向一揆である。

西分にあった信福寺には、紀州根来より逃れてきた門徒たち6、7人がいた。天正16年(1588)豊臣秀吉から長宗我部元親のところへ、紀州からの落人、専式坊法印主従を追討せよとの命令があり、元親は安芸郡の郡代、吉田孫左衛門ら3名の者に命じ、法印たちを討たせた。

吉田孝世の書いた「土佐物語」の中に、詳しくその様子が書かれている。

文化七年(1810)、現在の室戸市吉良川西山台地の開拓事業が行われたが、芸西から庄屋岡村家の子孫並びに専式坊法印の子孫澤野氏ら13戸の人たちが参加した。その開拓精神は今に受け継がれ、その子孫は地区農業の担い手となり、特産西山西瓜は市場の評価を高めている。

